令和3年度　事務事業評価調書

施策名：木質バイオマスのエネルギー利用の促進　／　施策コード：07072

【見直し区分】
①普及啓発　②会議等　③調査業務　④窓口業務等
⑤施設整備・維持等　⑥委託業務　⑦補助事業　⑧その他

【視点(E)(I)】
①省エネ設備の普及とエネルギー利用の効率化の促進　②再エネ導入促進、建築物の省エネ化
③次世代自動車などの導入促進　④3Rの推進による廃棄物の削減　⑤温室効果ガス吸収源対策
⑥「Smart道庁」の取組の推進による道庁における業務の効率化・省力化や多様で柔軟な働き方の実現
⑦行政のデジタル化に係る道内自治体間のノウハウの共有化の推進

【見直し状況(F)(J)(M)】
①　対応済
②　今回見直しを検討
－　対応が不要

【見直し結果（S)(T)(U)】
見直し状況(F)(J)(M)で「②今回見直しを検討」を選択した検討結果
○見直し対応　△検討継続

整理番号	枝番	重複施策	経費区分	事務事業名	見直し区分	事務事業概要	課・局室名	令和3年度 執行体制 前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	本庁	出先機関	人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号 (A)	事務事業方向性 (B)	理由及び今後の対応 (C)	重点点検事業 Ⅰ ゼロカーボン 計画等位置づけ (D)	視点 (E)	見直し状況 (F)	理由 (G)	重点点検事業 Ⅱ Society5.0 計画等位置づけ (H)	視点 (I)	見直し状況 (J)	理由 (K)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 該当 (L)	見直し状況 (M)	内容 (N)	Ⅳ 前年度意見 該当 (O)	対応状況 (P)	二次政策評価 意見	ACTION 結果への対応（令和4年度） 次年度方向性 (Q)	次年度対応内容 (R)	重点点検事業 見直し Ⅰ ゼロカーボン (S)	Ⅱ Society 5.0 (T)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 (U)	二次政策評価 意見への対応状況
0611		07071	事務	木質バイオマス利用の推進に関する事務	②	木質バイオマスの利用の推進のための施策推進・企画・調整事務	林業木材課	0	0	0	3.0	4.5	7.5	58,575		現状維持	・急増する木質バイオマス発電用の燃料需要に対応するため、林地未利用材の活用促進が必要。 ・FIT制度終了後も見据え、地域での木質バイオマスの熱利用への活用促進が必要。	－	④	①	会議の開催方法をWeb開催にするなど、すでに可能な範囲において対応済み	－	⑥	①	会議の開催方法をWeb開催にするなど、すでに可能な範囲において対応済み	○	①	会議の開催方法をWeb開催にするなどコロナ禍の状況に応じた事業内容の見直しを実施				現状維持				
0612		07071 05123	事務	木質バイオマス資源活用促進事業	⑥	林地未利用材の安定供給体制の構築を図るための集荷・搬出方法の普及やPR等や、木質ペレット等の利用拡大等に向けた普及に関する事務	林業木材課	0	0	0	1.0	0.2	1.2	9,372		終了	・急増する木質バイオマス発電用の燃料需要に対応するため、林地未利用材の活用促進が必要。 ・FIT制度終了後も見据え、地域での木質バイオマスの熱利用への活用促進が必要。	○	⑤	②	委託仕様書に温室効果ガスの排出削減、吸収等に資する取組を促す項目の付記を検討	－	⑥	②	委託仕様書にIoT、AI、ICTを積極的に活用するよう付記することを検討。	－	－				・ゼロカーボン北海道実現の観点から、森林資源の利用促進を図るため、木質バイオマスエネルギーの活用が重要であり、取組の一層の推進を検討すること。 木質バイオマスエネルギーの利用促進に向け、有効活用等の取組の一層の推進を検討すること。 ・委託業務における、委託仕様書への脱炭素化やSociety5.0の推進に資する取組を促す項目の付記や、プロポーザルの際の提案の追加など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	終了		○	○		・木質バイオマス資源活用促進事業はR3年度で終了。 R4年度は、木質バイオマスゼロカーボン推進事業を実施し、木質バイオマスエネルギーの利用促進に向けて、林地未利用材の搬出・運搬の効率化・低コスト化など安定供給体制の構築に向けた取組や地域における小規模ボイラーなどの熱利用施設の導入に向けた取組を進める。 ・委託業務において、委託仕様書へ脱炭素化やSociety5.0の推進に資する取組を促す項目の付記を検討する。
計								0	0	0	4.0	4.7	8.7																								

■令和４年度　新規事業

木質バイオマスゼロカーボン推進事業